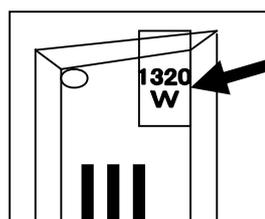


玄関のマーキングにご注意！

首都圏や関西など都市部のマンションの表札に不審なアルファベットや数字などが書き込まれ、住民の間に不安が広がっている。記号が何を意味するのか、誰が書いたのか全くわからない。

しかし、空き巣の被害に遭ったマンションで表札に記入された記号が確認され、警察当局も、窃盗団が留守宅の目印に書き込んだ可能性もある、と情報収集に乗り出した。

千葉県市川市内のアパートで1人暮らしの女性の部屋の表札には、右隅に黒いフェルトペンでアルファベット1文字が書き込まれていた。



マーキング

**例えば数字は不在時間13時～20時迄不在
アルファベットは入居者を表すと考えられる**

文字の意味に心当たりはなく、いつごろ書かれたかもわからない。だが、女性宅は空き巣に入られ貴金属や時計など約100万円相当が盗まれた。このアパートでは、全13室のうち計10室の表札にアルファベットと数字、記号を組み合わせた書き込みがあった。複数の部屋が同じ時期に空き巣の被害に遭っていた。

千葉県市川市では、2004年に入ってマンションやアパート計10棟の167室に似たような書き込みがされ、管理組合などから警察への相談が相次いだ。千葉県警は『窃盗団の何らかの暗号か、悪質ないたずら』とみて実態把握に乗り出している。

万一、家主様の方でマーキングを発見された場合は、すぐに消すようにご協力お願い申し上げます。